

愛知県広域道路ネットワーク図

【名岐道路】
 ○名古屋と岐阜の交流・連携強化
 ○リニアインパクトを中部圏全域に波及
 ・2025年4月1日 新規事業化(一宮～一宮木曾川)

【三遠南信自動車道】
 ○県境を越えた広域連携の軸となり
 広域道路ネットワークを形成
 ・2019年 3月 佐久間川合IC
 ～東栄IC間 開通
 ・2025年度 東栄IC～鳳来峡IC間開通予定

【新東名高速道路6車線化】
 ○三大都市圏を連結する
 ダブルネットワーク機能の
 強化・物流の効率化



【西知多道路】
 ○中部国際空港と高速自動車国道を直結
 ・2016年 4月 東海JCT、青海IC～常滑JCT間
 事業化
 ・2019年 4月 日長IC～青海IC間 事業化
 ・2021年 4月 長浦IC～日長IC間 事業化
 ・2022年 1月 大田IC 事業化

【浜松湖西豊橋道路】
 ○三遠地域の広域道路ネットワークの強化
 ○三河港と高速自動車国道を直結
 ・2022年3月 ルート帯及びインターチェンジ配置案を示す
 国の対応方針が決定
 ・2023年11月 接続部の検討範囲の見直しが決定
 ・2024年7～8月 都市計画基本方針案及び環境影響評価
 方法書縦覧、説明会(8月4日)

【名豊道路】
 ○重要港湾と産業集積地を直結
 ・2025年3月8日 豊川為当IC～蒲郡IC
 間開通により全線開通

国際競争力強化のための 広域道路ネットワークの整備推進



2025年7月

愛 知 県
 名 古 屋 市
 名 古 屋 港 管 理 組 合
 名 古 屋 商 工 会 議 所
 一 般 社 団 法 人 中 部 経 済 連 合 会
 中 部 国 際 空 港 株 式 会 社

国際競争力強化のための広域道路ネットワークの整備推進

当地域は、日本一の産業集積を誇る世界でも有数な産業圏域として、日本経済の中心的な存在です。今後とも、当地域が諸外国との厳しい国際競争に打ち勝ち、日本経済を支える大きな核として発展していくためには、陸海空の総合的な社会基盤の拡充により、効率的で強靱な物流ネットワークを構築する必要があり、その整備には一刻の猶予もありません。

貿易黒字額が約9兆円と27年連続日本一を記録した**名古屋港**においては、コンテナ、完成自動車、ばら積み貨物など幅広い貨物を取り扱う総合的な港湾として更なる港湾機能の強化を図るとともに、自動車の輸入台数・輸入金額が32年連続全国1位の**三河港**では、自動運搬船の大型化や完成自動車取扱量の増加への対応が急務であります。

また、国際拠点空港である**中部国際空港**においては、世界有数の産業圏域である当地域が海外との直結性を高めていくために、代替滑走路を始めとする機能強化を図るとともに、**リニア中央新幹線開業がもたらすリニア・インパクト**を広範囲に波及させ、空港・リニアの相乗効果を最大限に発揮できるよう取り組んでいかなければなりません。

我が国の経済を支える本県の「モノづくり」を持続的に成長させていくためには、物流・交流拠点と産業集積地、生産拠点の連携をより一層強化し、生産性の向上を図るとともに、民間研究拠点と生産拠点の連携による技術開発の加速化などにより、日本の基幹産業である自動車産業などの国際競争力を強化する必要があります。さらに、南海トラフ地震など大規模災害から国民の生命、財産を守るとともに、サプライチェーンの寸断による経済への影響を最小化する必要もあります。

そのためには、産業力を高め、いかなる状況においても機能する強靱な**広域道路ネットワークの整備**が極めて重要であり、「防災・減災、国土強靱化に向けた道路の5か年対策プログラム」の完了後においても、2025年6月に策定された「第1次国土強靱化実施中期計画」に基づき、**高規格道路の整備や道路施設の耐災害性強化・老朽化対策**などを着実に実行し、継続的・安定的に国土強靱化の取り組みを進める必要があります。

当地域が今後も日本の経済を牽引する役割を十分に果たしていくため、次の事項について、格別のご配慮を賜りますよう、お願い申し上げます。

【要望事項】

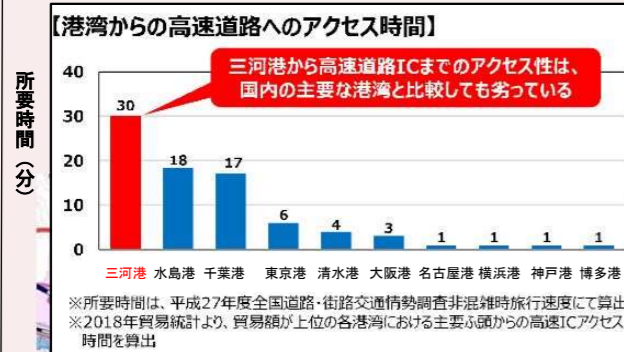
- (1) 西知多道路は、国際拠点空港である中部国際空港と新東名高速道路を直結し、リニア中央新幹線の名古屋駅とも繋がる重要な道路であり、国が責任を持つべき道路である。リニア中央新幹線の開業と中部国際空港の代替滑走路の供用が予定されている中、国の権限代行区間の整備を推進し、県事業中区間の整備加速に必要となる予算を確保すること。また、調査中区間の事業化に向け、関係機関の相互協力のもと着実に調査の進捗を図ること。
- (2) 名豊道路は、完成自動車の国際ハブ港である三河港と輸送機械等の生産拠点を結ぶ重要な東西軸であることから、全線4車線化に向けて整備を加速すること。
- (3) 名岐道路は、名古屋と岐阜との間の交流・連携を強化し、リニア・インパクトを広く中京圏全域に波及させる道路であることから、今年度の有料道路事業化に向けた支援を行うとともに、早期整備を図ること。また、名古屋駅と名古屋高速道路とのアクセス向上等を推進するため、名古屋高速道路公社に対して必要な支援を行うこと。
- (4) 三遠南信自動車道は、県境を越えた広域連携の軸となって広域道路ネットワークを形成することから、県内区間の今年度の全線開通に向けて整備を推進するとともに、県外区間についても早期整備を図ること。また、浜松湖西豊橋道路は、新東名・東名高速道路などと広域道路ネットワークを形成し、三河港から高速道路へのアクセスを飛躍的に高める重要な道路であることから、早期事業化に向けて、都市計画・環境アセスメントを進めるための直轄調査を推進すること。
- (5) 一宮西港道路や名古屋三河道路は、高速道路ネットワーク機能の向上に資する重要な道路であるため、早期事業化に向けて、都市計画・環境アセスメントの手続きが着実に進められるよう調査・支援に取り組むこと。
- (6) 新東名・新名神高速道路は、我が国の社会経済活動の根幹を担う新たな大動脈であり、ダブルネットワーク機能の強化及び物流の効率化に資することから、未開通区間の整備を推進するとともに、暫定4車線区間の6車線化の早期実現を図ること。
- (7) 国道302号、国道23号十一屋・宝神間や国道1号など、広域道路ネットワークの強化に向け早期整備を図るとともに、国道247号、国道301号など、国際競争力強化に資する道路整備について、財政的な支援を行うこと。
- (8) 「重要物流道路」は、日本の成長エンジンである本県における安定的な輸送の確保と生産性向上に重要な役割を果たすことから、重要物流道路の整備・機能強化を推進するとともに、補助制度の拡充等による財政支援を行うこと。
- (9) 防災・減災・老朽化対策を含む国土強靱化の取組を切れ目なく、強力に推進するため、本年6月に策定された「第1次国土強靱化実施中期計画」に基づく取組を着実に推進し、計画的な事業執行が可能となるよう、当初予算も含め、必要な予算・財源を通常予算とは別枠で確保すること。
- (10) 資材価格の高騰等に対応する中でも必要な道路整備・管理が長期安定的に進められるよう、新たな財源の創設等により、国・地方を合わせた2026年度道路関係予算について、必要な予算の確保を図ること。

2025年8月

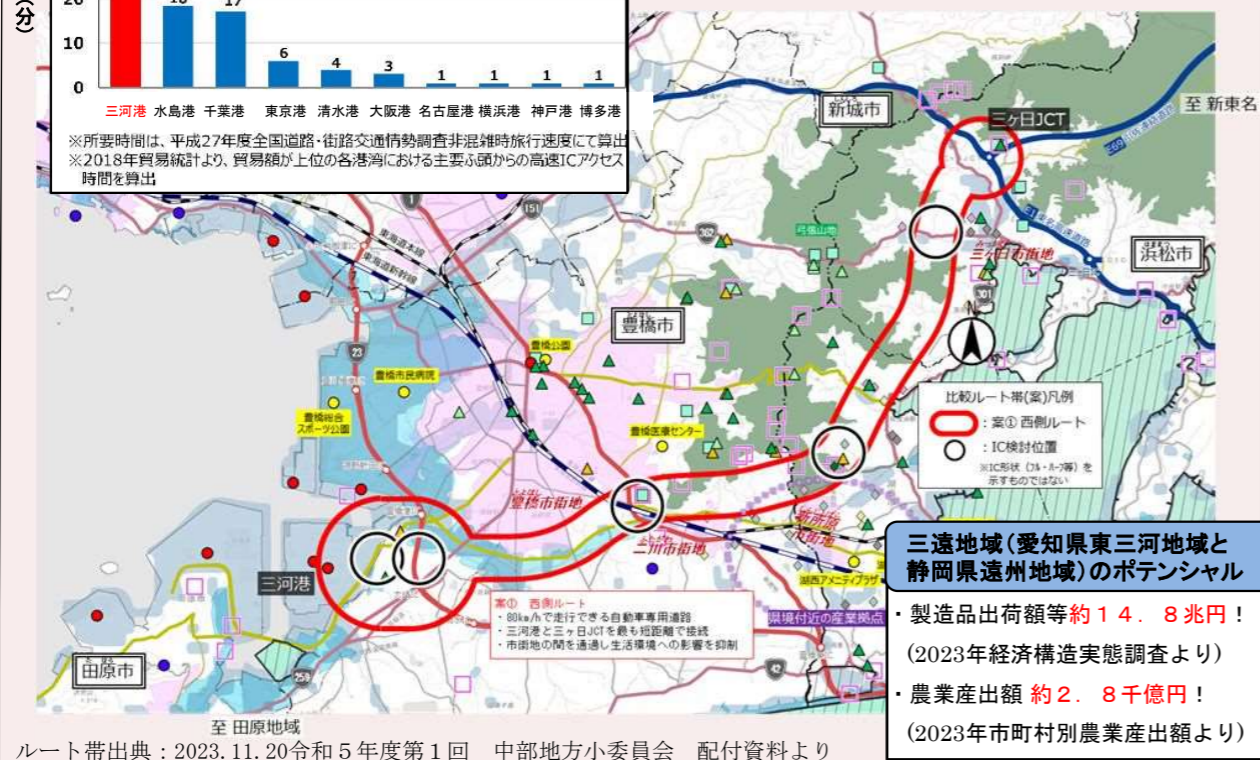
愛知県知事
名古屋港管理組合管理者
名古屋商工会議所会頭
一般社団法人中部経済連合会会長
中部国際空港株式会社代表取締役社長

章郎章
秀一秀
寛
村沢村尾野橋
大広大嶋勝籠
正哲典

物流の効率化に向けた広域道路ネットワークの早期実現を!



- ▶生産拠点から東名・新東名高速道路へのアクセス性が向上
- ▶物流・製造業や農業における輸送効率化・定時性向上に貢献



国際競争力強化のための広域道路ネットワークの整備推進 ～ストック効果～



国際競争力を強化する6車線化の早期事業化を!

- ▶自動運転等のイノベーションを推進
- ▶最高速度120キロ運用による交通容量の改善
- ▶三大都市圏を連結するダブルネットワーク機能をさらに充実

ダブル連結トラックの本格導入

- ・2019年1月29日より、特車許可基準の車両長緩和(21m⇒25m)



速度規制見直し

- ・2020年12月22日より、新東名(御殿場～浜松いなさ)において、120km/hの本格運用

自動運転トラックの開発 ハンズ・オフ実証の様子

自動運転社会への対応

- ・2024年度に、駿河湾沼津SA～浜松SAにおいて、100km以上の自動運転専用レーンを深夜時間帯に設定し、自動運転トラックの実証実験を実施予定。



○6車線化整備に合わせて制限速度が見直された場合

【海老名南JCT～豊田東JCT間の移動時間】
 現状: 暫定4車線(100km/h) ⇒ 約2時間30分
 将来: 完成6車線(120km/h) ⇒ 約2時間短縮!

2025年7月

愛知県名古屋市
 名古屋港管理組合
 名古屋商工会議所
 一般社団法人中部経済連合会
 中部国際空港株式会社

① 暫定2車線区間の4車線化に向けて整備の加速を!

▶三河港への完成車・部品輸送が効率化

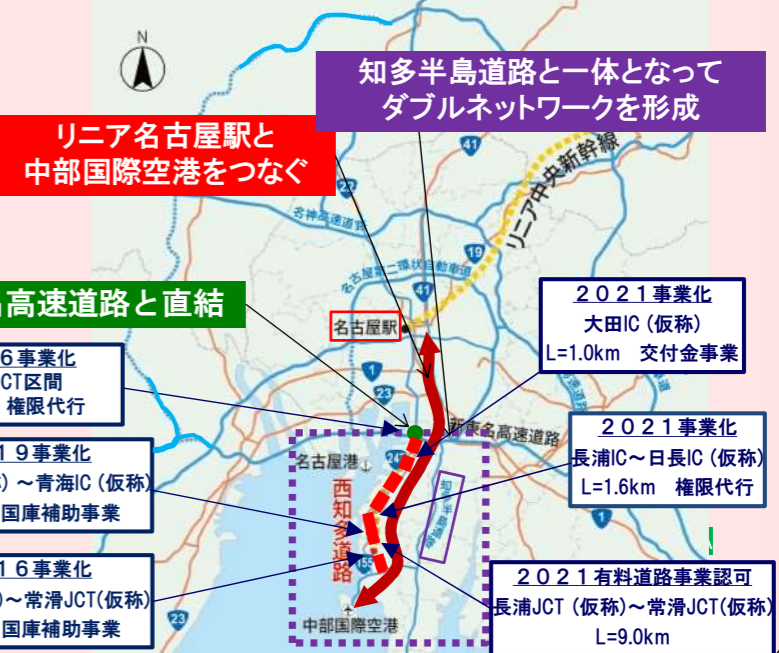
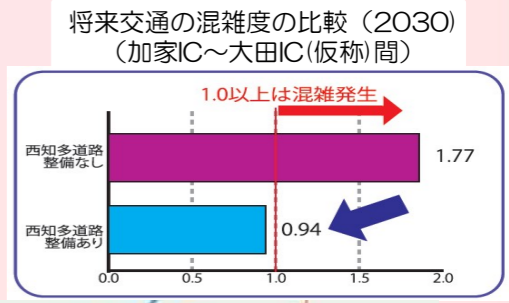


② 事業中区間の整備推進や調査中区間における事業化を!

西知多道路

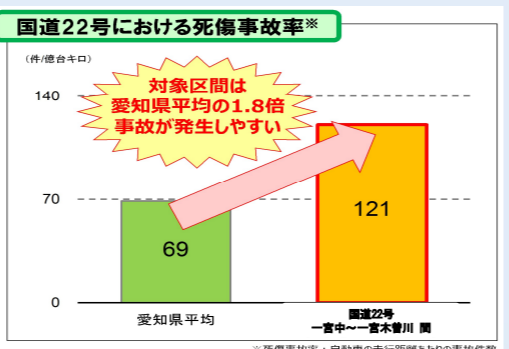
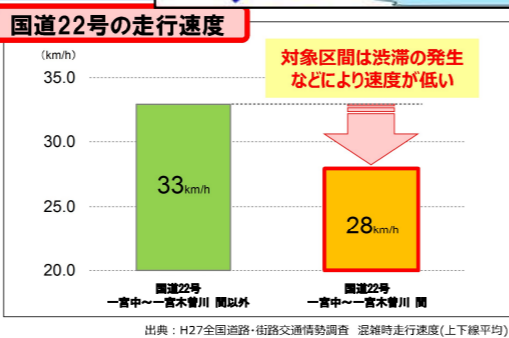
▶ 中部国際空港とリニア中央新幹線(名古屋駅)とを名古屋高速道路を經由してダブルネットワークで接続し、代替性を確保
▶ 平時・災害時問わず、国土強靱化に資する道路ネットワークを構築

現道の混雑状況(国道247号 加家IC付近)



③ 都市間の交流・連携を強化する道路の早期整備を!!

▶ 渋滞の解消、輸送の効率化により、定時性を確保し、地域経済の好循環を実現



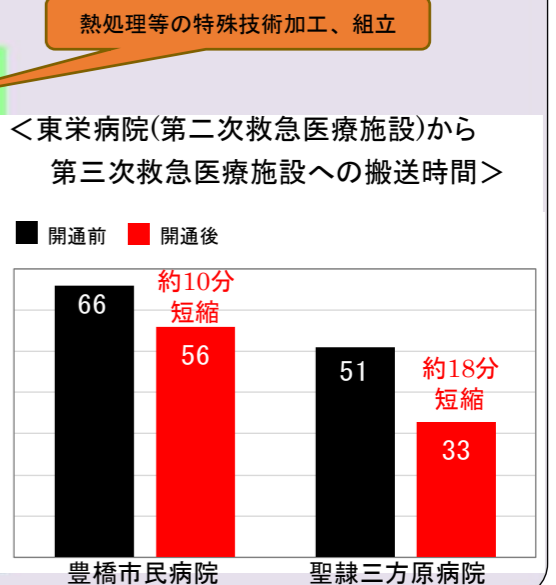
県境を越えた広域連携の軸となる道路ネットワークの早期整備を!

▶ 輸送の効率化により、沿線の産業が活性化
▶ 救急医療施設への搬送時間短縮により、安全安心な地域づくりに貢献

地域連携強化による産業の取組

・航空宇宙産業において、加工・熱処理・組立といった三遠南信地域の得意分野を連携することで、生産の効率化を図る。

三遠南信自動車道



愛知のモノづくりを支え、国土強靱化を実現する道路整備の推進 ~愛知県が進める国庫補助事業~

日本一の産業集積地「愛知」を支える道路整備

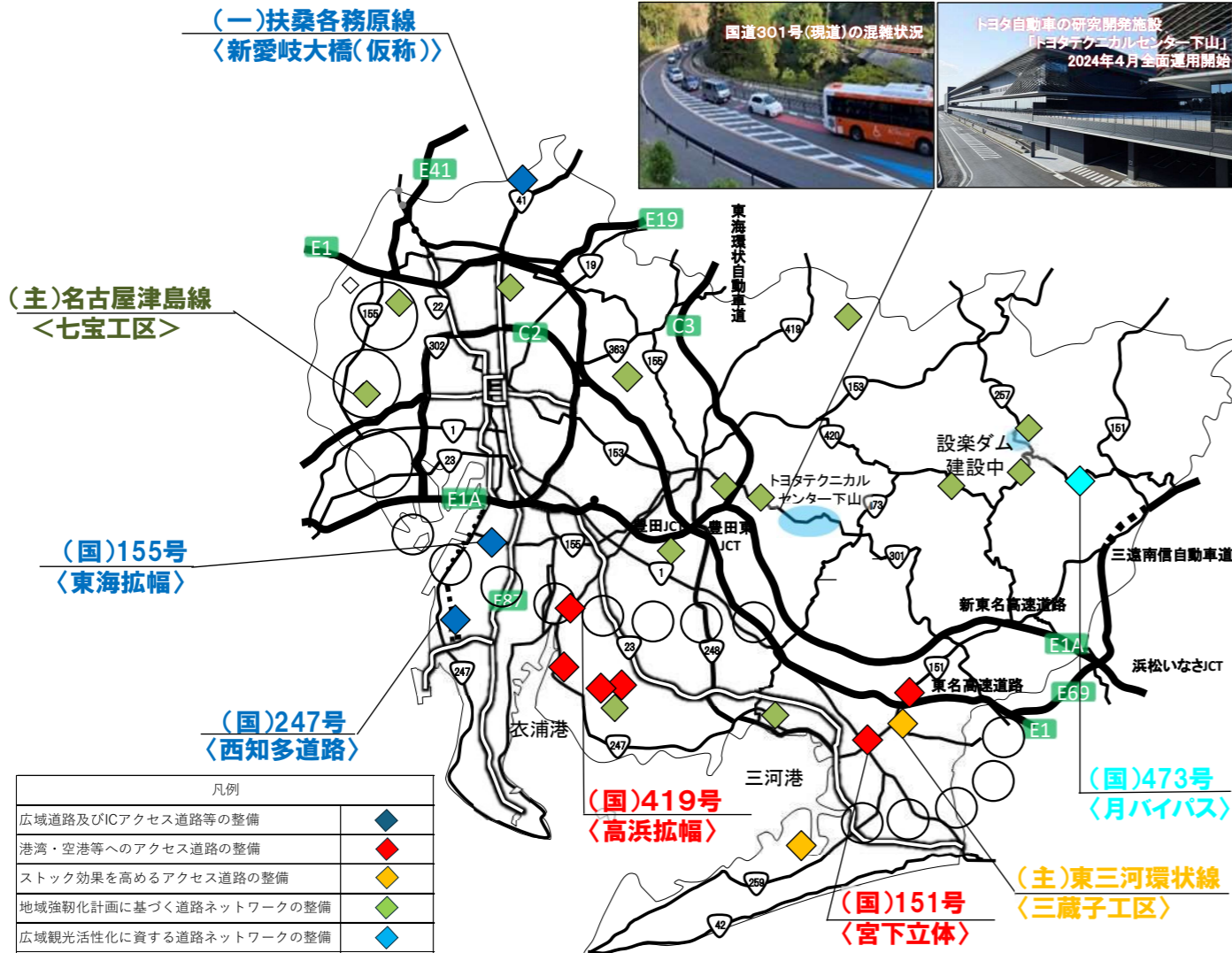
○自動車や航空宇宙産業等モノづくりの一大集積地で、全国シェア約15%の製造品出荷額等は46年連続日本一
→生産性向上による持続的な経済成長に向けた道路整備を強力に推進

- ・「物流ネットワークの強化(広域道路の整備、空港・港湾等へのアクセス道路の整備など)」
- ・「ストック効果を高めるアクセス道路の整備」「連続立体交差事業の推進」「幹線道路の渋滞対策」など

○16年連続交通事故死者数全国ワーストを脱したものの、依然として厳しい状況が続く

→県民の生命・財産を守る道路整備を強力に推進

- ・安全・安心を確保する重点対策としての「老朽化対策」「地震防災対策」「交通安全対策」など



●空港、港湾等へのアクセス道路の整備等

物流の効率化など生産性向上に資する空港・港湾等へのアクセス道路の整備を計画的かつ集中的に実施【個別補助】



◆連続立体交差事業の推進

道路交通の円滑化と分断された市街地の一体化による都市の活性化に資する連続立体交差事業を計画的かつ集中的に実施【個別補助】

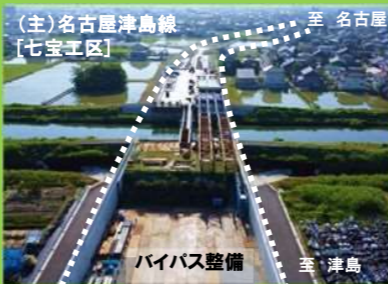


●ストック効果を高めるアクセス道路の整備



工業団地の造成など民間投資と供用時期を連携し、人流・物流の効率化や成長基盤の強化に資するアクセス道路整備を推進【交付金(重点配分)】

●愛知県地域強靱化計画に基づく道路ネットワークの整備



第一次緊急輸送道路に指定されている名古屋津島線など、災害時においても、円滑な交通確保に寄与するバイパス整備を含む道路ネットワークの整備を推進【交付金(重点配分)】

安全・安心を確保する重点対策

〈老朽化対策〉

予防保全型維持管理への本格転換

- ・Ⅲ判定(早期措置)施設の修繕等を進めつつ、予防保全型メンテナンスへの本格転換を図る

橋梁の修繕



(一)名古屋豊山稲沢線 行人橋

〈地震防災対策〉

愛知県地域強靱化計画に基づき「南海トラフ地震」に備える耐震補強等を推進

橋梁の耐震補強

無電柱化



(主)名古屋岡崎線 岡崎市 (一)岡崎幸田線 岡崎市

〈交通安全対策〉

愛知県交通安全計画に基づき幹線道路や生活道路の交通事故対策を推進

通学路の安全対策



(一)細川豊田線 豊田市

●広域道路ネットワークの整備等

広域的な経済・生活圏の形成を促進するため、高規格道路及び重要物流道路やICアクセス道路等の整備を推進【個別補助】



●広域観光活性化に資する道路ネットワークの整備

観光施設へのアクセス性の向上を図り、広域的な観光活性化を支援【交付金(重点配分)】

